



NPO 法人 Pand A  
代表  
早川 由美子さん

NPO 法人 Pand A  
鹿児島市石谷町 2155-27  
Tel.099-295-3115

## アート体験を通して心の交流を

芸術というと、絵や音楽などをイメージされがちですが、決して限られたジャンルのものではなく、人が生きることそのものが、新たな経験を日々積み重ねる「創作活動」だと私は思っています。また、自然の移ろいはこちらろん、文学や伝統文化、建造物に至るまで、私たちの日常にある「美」を意識することが、より深く深く芸術へ近づく一歩だと考えています。

Pand Aでは「すべての人に芸術を」をテーマに、展覧会の企画・運営、アートコーディネート、ワークショップなど、人とアートをつなぐ活動を2004年から展開しています。

活動の一つである段ボールハウスのワークショップは、気軽にアートを体験できる場として、地域のイベントや学校の授業、家庭教育学級などでも取り入れられています。家族や友達と共に手を動かしていきながら小さな家を作っていく中で、それまで気づかなかった互いの個性を発見しあうなど、心の交流にもつながります。趣旨に共感してくださる方が徐々に増え、鹿児島から全国へ活動が広がりを見せています。ひとりでも多くの方に、作ることでよる心の交流を体験していただければと思っています。



段ボールハウス作りは、気軽に参加できる創作の場として子どもから大人まで幅広く親しまれている。

## 寄り添うお産で産む力、生まれる力を高める

助産院では、妊娠期から出産、産後の時期にわたり、助産師による継続的な健診やケアを行っています。本来備わっているお母さんの「産む力」、そして赤ちゃん自身の「生まれる力」を最大限に引き出すサポートを行うのが、私たち助産師の役割です。必要な時には医療機関の支援を受けながら、できる限り自然なお産を目指しています。

以前、青年海外協力隊員として赴任したラオスでは、日々の食料にも事欠くほど貧しい中でもおおらかに出産、育児を楽しんでいました。その一方で、いま日本では、「産後うつ」が社会問題になっています。「日本のお母さんたちにも笑顔でいてほしい」その思いが、自然なお産をすすめる原動力になっています。

お産は、お母さんが自分自身に向き合い、自分と赤ちゃんの力を信じて乗り越えていく素晴らしい体験です。そこにはお父さんのサポートも必要です。家族みんながお産の体験を共有することで、家族の結びつきが強くなり、その後の家族関係に良い影響を与えてくれます。

お母さんたちが大事なお産の時期を笑顔で過ごせるよう、今後もしっかりと承継して自然なお産を承継し、その素晴らしさを発信し続けていきたいと思っています。



公益社団法人 鹿児島県助産師会  
いのち未来館 鹿児島中央助産院  
院長  
北村 愛さん

鹿児島県助産師会・鹿児島中央助産院  
鹿児島市伊敷 6 丁目 17-18  
Tel.099-210-7560



お母さんが自分のからだとお赤ちゃんに十分向き合えるように丁寧な健診を行う。